



り賞
く大
づ本
の
も日

ファームノート 安倍首相から表彰

【東京】「第8回ものづくり日本大賞」の表彰式が8日、首相官邸で開かれた。最高賞の内閣総理大臣賞に輝いたファームノート（帯広市、小林晋也社長）ら15件（37個人、1団体）の受賞者に、安倍晋三首相から賞状が授与された。

内閣総理大臣賞を受賞したファームノートの関係者ら（左4人目から小林社長、安倍首相、梶山弘志経産相）

ものづくりを継承し、事業環境の変化に対応しながら発展させている個人やグループを表彰する制度。経済産業省や国土交通省などが連携し、隔年で開催している。

ファームノートは牛群管理システムを開発。飼養記録や情報共有をデバイスで管理でき、人手不足や過酷な労働に悩む酪農・畜産農家の生産性向上に貢献したと評価された。小林社長の

他、同社の阿部剛大氏、下村瑛史氏、高橋勲充氏、開発に協力したビート・クラフト（東京）の竹本正志氏、ハイテックシステム（恵庭市）の酒井裕司氏、とちぎ財団の田村知久氏の計7人が受賞した。

安倍首相は「これからも日本のものづくりをリードし、イノベーションを生み出すことを祈念している」と期待を述べた。

小林社長（40）は「チームで受賞でき、率直にうれしい。ものづくりにゴールはなく、今後も愚直に楽しく取り組みたい」と話した。（池谷智仁）